

第2学年 国語科学習指導案

指導者 2組 星 敦子【公開授業Ⅰ】
男子16名 女子13名 計29名
1組 佐々木 えり子【公開授業Ⅱ】
男子14名 女子13名 計27名

- 1 単元名 登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読み、音読ショップを開こう
教材名 「お手紙」(光村図書 2年下)

2 単元について

(1) 児童について

本学年の児童は、これまで登場人物の行動や会話を中心に場面の様子を想像するという学習を1年生から重ねてきた。2年生の「ふきのとう」では、登場人物の行動や会話に気を付けて読み方を工夫する役割読みを経験している。また、「スイミー」では時間や事柄の順序に気を付けて話の大体をとらえ、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む学習をしてきた。

これらの学習を通して児童は、登場人物の行動や会話に着目し、登場人物の気持ちや場面の様子を捉えることができるようになってきている。今後、自分自身の経験と結び付けて、より深く登場人物の気持ちや場面の様子を捉えることができるようにしていくと、さらに力が付くと考える。

国語の意識調査では、「国語が好きか」という質問に対し、83%もの児童が好きと答えるなど、多くの児童が国語に意欲的に取り組んでいるということが分かった。また、「ペア交流は好きか。」という質問には88%の児童が好きと答えるなど、相手の考えを取り入れながら自分の読みや考えを深めていくことに楽しさや喜びを感じている児童が多いことも分かった。

(2) 教材について

第1学年及び第2学年の「C読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」ことである。「お手紙」は、会話文が多く、登場人物が少ないため、人物の心情やその変化が分かりやすい教材である。手紙をもらえずに悲しんでいるがまくんが、かえるくんからの手紙の内容を知ることによって、親友のありがたさを幸せに思う話である。友達の不幸せを一緒に悲しみ、幸せを共に喜ぶほのぼのとした心情を描いているため、友達に対して興味をもち始める2年生という時期に学習する意味がある教材だといえる。手紙を待つ2つの場面の違いを、挿絵や叙述から読み取らせるなど、細かい点に注意しながら味わう指導を行ったり、文学的文章の読み方にも触れさせたりするのに良い教材である。

(3) 指導について

本単元で付けたい力は、「場面の様子について登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読む力」である。そして、登場人物の行動や会話から話全体の面白さや主題に迫れるような読む力を目指す。また、単元の初めから登場人物の個性や性格を味わわせるために、シリーズ作品の並行読書を行う。これらの学習から得た力を活用させ、声の出し方を工夫して音読ショップを開くことをゴールとして設定した。そのために、第二次の中でも積極的に音読を取り入れていきたい。

学習の振り返りをする時には、「ぞうさんタイム」として今日の学習において「頑張ったこと」

や「発見したこと」などの観点を示して振り返られるようにしていきたい。友達の頑張っていたところや良かったところなどにも気付けるように視点をもたせたい。

本単元では、かえるくんとがまくんの会話や行動からその場面の二人の気持ちを読み取り、想像を広げながら考えることができるようペアやグループでの交流を第二次（3～7時）、第三次（8～12時）に設定している。第二次では叙述や会話から読み取った登場人物の気持ちを、ペアやグループで交流することで深めていくことを目的に交流を設定した。友達の考えや読みを知ること、理由や根拠をもって自分の考えを深めたり広げたりできるようにしたい。更に、友達の考えのよさや、新たにか気付いた見方を自分の考えや読みに活かせるようにしたい。第三次では、グループで音読ショップを行う。第二次で獲得した読みを、声の出し方の工夫に生かして音読ショップを行うことができるようにするために、各グループ内で読み方の工夫を交流したり、考えを出し合ったりして自分の考えを表現できるようにしたいと考えた。

3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への関心・意欲・態度	○ 音読ショップを行うことに興味をもち、音読の工夫を考えながら学習に取り組むことができる。	○ 自分が感じた物語の面白さが伝わるように、音読ショップをしようとしている。
読む能力	○ 読んだことを音読ショップに生かすことができる。 【読(1)ア】 ○ 場面の様子について、登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読むことができる。 【読(1)ウ】	○ 人物の様子や気持ちを想像し、物語の様子が伝わるように工夫して音読している。 ○ 登場人物の行動や出来事から場面の様子を想像し、お気に入りの場面を見つけている。
言語についての知識・理解・技能	○ 文の中における主語と述語の関係を理解することができる。 【伝国(1)イ(カ)】	○ 主語と述語の関係を理解している。 ○ 「だれが」いった言葉なのかに気を付けて読んでいる。

4 単元の指導計画と評価規準（全12時間）

時間	学習活動	評価規準	主な交流活動
1	(1) 「お手紙」の全文を読んで初発の感想をもち、話の大体の流れを把握する。 (2) 「がまくんとかえるくん」シリーズの他のお話を読み、がまくんとかえるくんに興味をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ あらすじを押さえて、感想をもっている。【関・意・態】 ・ 「がまくんとかえるくん」シリーズの本に興味をもち、登場人物の様子を想像しながら読んでいる。【関・意・態】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の感想をペアやグループ、全体で交流する。
2	(3) 「音読ショップをたのしもう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音読ショップを行うことに関心をもち、音読の工夫を考えながら学習に取り組んでいる。【関・意・態】 	
3	(4) がまくんの家で、手紙をもらえず悲しんでいる二人の気持ちを読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 悲しい気持ちで手紙を待つ二人の様子や気持ちを想像して読んでいる。【読(1)ウ】 ・ 誰の言った会話文かを理解し、場面の様子を想像しながら読んでいる。 【伝国(1)イ(カ)】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読み取った気持ちとその根拠となる文を、ペアやグループ、全体で交流する。
4	(5) かえるくんが急いで家に戻ってがまくんへ手紙を書くときの様子を読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行動を中心に想像を広げながら、かえるくんの気持ちを読み取っている。【読(1)ウ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読み取った気持ちとその根拠となる文を、ペアやグループ、全体で交流する。
5	(6) がまくんの家で、二人で手紙を待っているときの二人の気持ちの変化を読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二人の気持ちの違いを読み取り、二人の心が通い合っていく様子を読み取っている。【読(1)ウ】 ・ 誰の言った会話文かを理解し、場面の様子を想像しながら読んでいる。 【伝国(1)イ(カ)】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読み取った気持ちとその根拠となる文を、ペアやグループ、全体で交流する。
6	(7) 「お手紙」の中でがまくんがいちばん幸せな場面はどこか交流する。 【2年2組公開授業Ⅰ】	<ul style="list-style-type: none"> ・ がまくんがいちばん幸せに感じている場面を選び、交流を通して自分の考えを広げながらがまくんの気持ちを读み取ることができる。 【読(1)ウ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が選んだ場面と理由を友達と伝え合い、がまくんの気持ちについて交流する。

7	(8) 全文を振り返り、音読ショップで発表したいところを決める。 【2年1組公開授業Ⅱ】	<ul style="list-style-type: none"> 音読したいと思うところを見つけ、その理由を交流し、話のよさを読み取る。 【読(1)ウ】 	<ul style="list-style-type: none"> 音読したい理由を教え合ったり、共感したところを伝え合ったりする交流をする。
8	(9) 音読の仕方を考える。考えた読み方や動き方を教科書やノートに書き込む。	<ul style="list-style-type: none"> どのように音読すれば気持ちや様子が伝わるのか、読み方の工夫を考えて書き込んでいる。 【伝国(1)イ(カ)】 	<ul style="list-style-type: none"> 音読の工夫について交流する。
9	(10) グループで音読ショップの練習をし、友達と感想や助言を伝え合い、音読の仕方をもう一度考える。	<ul style="list-style-type: none"> 音読の練習をし、考えた読み方で音読ができている。 友達の意見などを参考にし、音読の仕方を見直している。 【読(1)ア】 	<ul style="list-style-type: none"> グループで音読ショップの練習をし、感想や助言をグループで交流する。
10	(11) 学年音読ショップを開き、工夫した読み方で音読する。	<ul style="list-style-type: none"> 工夫した音読をすることができる。 【読(1)ア】 	<ul style="list-style-type: none"> 音読ショップをした感想や助言を全体で交流する。
11	(12) 学年音読ショップを開き、工夫した読み方で音読する。	<ul style="list-style-type: none"> 工夫した音読をすることができる。 【読(1)ア】 	
12	(13) 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 学習を振り返り、できたこと、良かったことを確かめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りを伝え合い、学習の成果を認め合う。

5-1 本時の指導（6/12時間）

【2年2組公開授業Ⅰ】

(1) 目標

がまくんがいちばん幸せに感じている場面を選び、交流を通して自分の考えを広げながら、がまくんの気持ちを読み取る。

(2) 本時の評価の観点と評価規準

観点	評価規準	概ね満足できる	支援を要する児童への手立て
	がまくんがいちばん幸せに感じている場面を選び、交流を通して自分の考えを広げながらがまくんの気持ちを読み取ることができる。【読む能力】	交流を通して自分の考えと友達の考えとを比べながら自分の考えを広げ、がまくんの幸せな気持ちを読み取っている。 (例)わたしは二人でお手紙が来るのを待っているところだと思います。どうしてかという、かえるくんが友達でうれしいからです。友達も同じ考えでした。	場面を選べない児童には、挿絵を手掛かりにしながら考えさせる。理由が書けない児童には、友達の考えを聞いてまねをしながら自分の思いをもつことができるように声掛けをする。

(3) 研究仮説に関わって

<学習課題の解決に向けて、子供たちが意欲的に交流する場や方法の工夫>

本時では、自分の考えを広げ、人物の気持ちをより深く読み取るためにグループ交流を位置付ける。同じ考えと違う考えとを交流することを通して、自分の考えを確かなものにすると同時に、友達の考えを知り新しい見方をすることができると思う。

ペアでの交流では、同じ場面を選んだ子供同士で交流できるように、カラー帽子を活用し自分達でペアを作ることができるようにする。そして、伝え合いだけに終わることのないよう、伝え合った後にそれぞれ相手の考えに対する感想を言ったり質問をしたりして深めさせたい。学級全体の交流では、自分とは違う考えも大切にしながらがまくんの幸せな気持ちを読み深めたい。

(4) 展開

段階	学 習 活 動 (○主な発問、◇期待する児童の反応)	指導上の留意点（・）評価（□） 交流活動（☆）
導入 5分	① 本時の目標をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">がまくんがいちばんしあわせな場面はどこだろう。</div>	
	② 音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ がまくんの気持ちを深く理解するために、友達と交流することを確認する。 ・ 選ぶ場面を確かめるために音読する。

<p>展開 30分</p>	<p>③ がまくんがいちばん幸せな場面とその理由を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が選んだ場面とその理由を書きましょう。 ◇ かえるくんがお手紙を書いたことを聞いたとき。 ◇ お手紙の内容を聞いたとき。 ◇ お手紙を待っているとき。 ◇ お手紙が届いたとき。 <p>④ 同じ場面を選んだ友達と交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 同じ場面を選んだ友達とペアになって交流しましょう。終わったら、別な友達とペアになって交流しましょう。 ○ 伝え合ったら感想を言ったり質問をしたりしましょう。 ○ 席に戻って交流コーナーに書きましょう。 ◇ △△さんの理由はわたしと同じで、がまくんが初めてお手紙をもらうからという理由でした。 ◇ △△さんの理由はぼくと違って、かえるくんの気持ちがうれしいからという理由でした。そういう考えもあるんだなあと思いました。 <p>⑤ 学級全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学級全体で、がまくんがいちばん幸せだと思う場面とその理由を交流しましょう。 ◇ わたしは、「だって、ぼくがきみにお手紙を書いたんだもの。」のころだと思えます。どうしてかという、かえるくんのやさしさが分かったからです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選んだ場面にサイドラインを引かせる。 ・ 場面の挿絵を提示し、自分がどの場面を選んだのかが分かるようにする。 ・ 誰が選んだかが分かるように黒板に名前マグネットを貼り、場面ごとにカラー帽子で色分けをする。 <p>□ 自分が選んだ場面とその理由を書いている。(シート)</p> <p>☆ 同じ場面を選んだ友達とペアを作って理由を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ帽子の色の友達とペアを作る。 <p>・ 二人以上と交流した児童はいちばん書きたいと思った友達の考えを書かせる。</p> <p>☆ 学級全体で、考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分とは違う場面を選んだ友達の考えをよく聞くようにする。 ・ 選んだ場面が一つに集中した場合、その場面を選んだ根拠になる文や考えた理由を中心に交流する。 <p>□ がまくんが幸せな気持ちになった理由を読み取っている。(発言・シート)</p>
-------------------	--	--

	<p>◇ ぼくは、「ふたりとも、ともしあわせな気持ちで、そこにすわっていました。」のところだと思います。どうしてかという、「しあわせ」と書いてあるからです。</p> <p>○ 交流して思ったことを交流コーナーに書きましょう。</p> <p>◇ △△さんは、違う場面でした。理由を聞いてなるほどと思いました。</p> <p>◇ 友達の考えを聞いて、自分の考えが変わりました。</p>	<p>□ 交流を通して自分の考えを深めている。 (発言・シート)</p>
<p>終末 10分</p>	<p>⑥ 本時のまとめと振り返りをし、次時の見通しをもつ。</p> <p>○ ぞうさんタイムで学習を振り返りましょう。頑張ったことやできたこと、友達と交流して良かったことなどを書きましょう。</p> <p>◇ 自分の考えをわけをつけて話すことができました。</p> <p>◇ がまくんがしあわせになった理由を友達と考えることができました。</p> <p>○ 次の時間は、音読したいところを決めましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りでは、「できたぞう」や「はっけんしたぞう」などの観点を示し、自分ができたことや友達と交流して良かったことをノートに書かせる。 ・ 何人かに発表させる。 ・ 次時では、音読ショップで音読したい場面を決めることを伝える。

(5) 板書計画

ぞうさんタイム	絵	絵	絵	絵	お手紙 がまくんがいちばんしあわせな場面はどころう。
	た。	お手紙をもらって、がまくんは、とてもよろこびました。	ふたりとも、ともしあわせな気持ちで、そこにすわっていました。	「とってもいいお手紙だ。」 「ああ。」 「親愛なるがまくんがえるくん。」	「だって、ぼくが、きみにお手紙出したんだもの。」 「きみが。」

5-2 本時の指導（7/12時間）

【2年1組公開授業Ⅱ】

(1) 目標

音読するところを決め、その理由から「お手紙」の面白さについて読みを広げる。

(2) 本時の評価の観点と評価規準

観点	評価規準	概ね満足できる	支援を要する児童への手立て
	<p>登場人物の行動と出来事から場面の様子を想像し、音読するところを決め、その理由から「お手紙」の面白さについて、登場人物の行動と出来事から場面の様子を想像して読みを広げている。</p> <p style="text-align: center;">【読む能力】</p>	<p>音読するところを決め、その理由から「お手紙」の面白さについて読みを広げることができる。</p> <p>(例)かたつむり君が「まかせてくれよ。」と言ったことが面白いところです。どうしてかと言うと、かたつむり君は歩くのが遅いのに張り切って言ったからです。</p>	<p>決められない児童には、好きや読みやすいなどの観点で選ぶとよいと声掛けをする。</p> <p>面白さに気付かない児童には、かたつむり君かえる君がま君の誰かに絞って考えるよう声掛けをする。</p>

(3) 研究仮説に関わって

＜学習課題の解決に向けて、子供たちが意欲的に交流する場や方法の工夫＞

本時では、「お手紙」の全文を通して自分が音読したい部分とその理由を考え、自分の考えを広め深めるために、ペアでの交流を行う。決めた部分や理由を友達と教え合うことを通して、自分と同じ或いは違う考えがあることも知ることができる考える。

ペアでは、自分の理由や、相手のいいなと思うことを伝えたり共有したりする交流をする。

その後で、ペアとペアで更に交流を行う。ここでは、ペアで共有したことを相手のペアと交流することで考えが広がるようにさせたい。学級全体の交流では、「お手紙」の面白さについて子供たちの考えを深めさせたい。シートに音読したい部分の理由を書き、相手に伝えるときの投げ所とする。ペアで交流した後に相手の考えに共感したことなども書きたしていく。そうすることで、友達の考えを認めたり、自分の考えを広めたりするきっかけとなるはずである。

(4) 展開

段階	学 習 活 動 (○主な発問, ◇期待する児童の反応)	指導上の留意点 (・) 評価 (□) 交流活動 (☆)
導入 5分	① 本時の目標をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">音読したいところをきめて、読みたいわけを考えよう。</div> ② 本時の学習の流れをつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習活動とゴールを確認する。
展開 32分	③ 全文を振り返り、音読したい部分とその理由を考える。 ○ 音読したいと思ったところはどこですか。 ◇ かたつむり君が「まかせてくれよ。」と言ったところです。 ◇ 2人で手紙を待っているところです。 ○ 音読したいところを決めて、そのわけを書きましょう。 ◇ かたつむり君がおもしろいからです。 ◇ 幸せそうに待っているところが好きだからです。 ④ 友達と交流する。 ○ ペアになって、決めたところとわけを教え合いましょう。「いいな」と思ったところを友達に話しましょう。終わったら、他のペアとも教え合いましょう。 ◇ 「まかせてくれよ」と言ったのが面白いというところがいいと思いました。 ◇ 幸せそうなところに決めたのがいいと思いました。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音読をして、前時までの学習を想起させる。 ・ 本文全体から音読したい部分を決めることを確認する。 ・ シートには理由だけ書くことを確認する。 ・ 途中で変更してもよいことを確認する。 <p>□ 自分が決めた理由を根拠を明らかにして考えて書いている。(シート)</p> <p>☆ 決めたところと理由を教え合い、共感したところをペア・グループで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 始めはペアで交流し、その後ペアとペアを合わせたグループで交流し、考えを広めたり、まとめたりしていく。 ・ 交流して共感したり、つけ足したりしたいことはシートに書き加えることを確認する。 <p>□ 相手の話を受け入れたり、共感したりしている。(シート)</p>

	<p>⑤ ペアで交流したことをもとに全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達はどんなわけを話していましたか。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ △△さんは、かたつむり君が面白いですと言っていました。 ◇ 幸せそうに待っているところが好きだからと言っていました。 ○ かたつむり君の何がおもしろかったのかな。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 張り切っているところ。 ◇ 歩くのが遅いのに「まかせてくれよ。」と言ったところがおもしろい。 ◇ かたつむり君もだけど、かえる君も自分より遅いかたつむり君にお手紙を頼んだところがおもしろい。 	<p>☆ かたつむり君の何が面白いのかを全体で交流することで、「お手紙」のもつ話の面白さについても考えを広げる。</p>
<p>終末 8分</p>	<p>⑥ 本時のまとめと振り返りをし、次時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ぞうさんタイムで学習を振り返りましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 発見したぞうです。同じところでもわけが違っていただけ、△△さんのわけもいいなと発見したからです。 ○ 次の時間は、音読発表会の準備をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ぞうさんタイムの観点は、「おなじだぞう」や「はっけんしたぞう」、などの観点を示し、ノートに書き、その後全体で何人かに発表させる。 ・ 次時では、選んで部分の読み方を考えて音読発表会の練習をすることを伝える。

(5) 板書計画

<p style="text-align: center;">ぞうさんタイム</p> <p style="text-align: center;">お話のおもしろさ</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 60px; margin-bottom: 10px;"></div> <p style="text-align: center;">挿絵</p> <p>音読するところのきめ方</p> <ol style="list-style-type: none"> ① お話全体からえらぶ。 ② きめたら□でかこむ。 ③ 音読してみる。 ④ きめたわけを書く (プリントに) <p>かたつむり君</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩くのがおそいのに、はりきっている ・ 「まかせてくれよ」とじまんしているみたい <p>←</p>	<p style="text-align: center;">お手紙 アーノルドローベル</p> <p>音読するところをきめて、読みたいわけを考えよう。</p>
--	--	--